

津消防タイムズ

第 26 号

発行 津市消防本部
〒514-1101
津市久居明神町 2276
編集 消防総務課
企画広報担当
TEL 059-254-0353
FAX 059-256-7755
協力 津市防火協会

火災などの
お問い合わせ
224-1881
救急医療情報案内
256-1199



化学防護服を着装した消防救助隊員から要救助者を引き継ぐ北消防署救急隊

電車内で化学テロ発生! 対化学テロに備え本番さながらに訓練を実施

公共交通機関で化学テロが発生したという想定で一月三十一日、白塚町の近畿日本鉄道(株)明星検車区白塚車庫構内で対化学テロの初動対処合同訓練が行われました。

訓練には、三重県及び同県警察本部、津市及び同市消防本部、日本赤十字社三重県支部、近鉄の六団体から約百五十人が参加して、各防災機関が化学テロ災害への的確・迅速な初動対応や連携を確認しました。

訓練は、近鉄名古屋線を走行中の電車内で、サリンによる化学テロが発生し、乗客が息苦しさを訴えて次々に倒れ、電車が緊急停車したという想定で実施され、近鉄の乗務員が一〇番通報後、同連絡救護班が救難しごを使用し、乗客を車外へ誘導しました。

続いて、津市消防本部の消防隊員は、構内に除染所を設置すると



避難した乗客から事情を聞く警察官と近鉄職員

識不明の乗客らをバスケット担架を使用して救出し、応急救護所にて、日赤三重県支部の医師等がトリアージ(重症度の選別)を実施して応急手当が行われました。その後、防護服を着装した同県警機動隊NBC対策班が、車内で採取した化学物質(サリン)を分析し車内を除染しました。

訓練終了後、大庭靖彦同県警本部長は、「本年は主要国の首脳が集まる北海道洞爺湖サミットが開催され、国内がテロの標的になる可能性も排除できません。また六月には京都市で外相会議の開催もあり、本県としても各関係機関が緊密に連携を取り、迅速、また的確に対処能力の向上に努めて下さい。」と述べられました。



乗客に化学物質(サリン)の除染を行う警察官

ともに、化学防護服に身を包んだ中、消防署の特別救助隊員が意

住宅火災をいち早く知らせる「住宅用火災警報器」を設置しましょう!

くわしくは津市消防本部予防課予防担当まで 254-0354

「津消防タイムズ」は、津市ホームページ <http://www.info.city.tsu.mie.jp> 生活ガイドの消防情報から